

インフルエンザ予防接種を受ける方へ

この説明書を予防接種前に必ず読んでください

インフルエンザは、インフルエンザウイルスに感染することによっておこります。症状としては、突然の高熱、頭痛、関節痛などがあります。

予防接種を受けてからウイルスに対する抵抗力がつくまでには、約2週間程度かかり、その効果は約5か月間あるといわれています。一般的に65歳以上の方は、1回の予防接種で1シーズン分の効果があります。

《予防接種を受ける前に》

この説明書をよく読み、予診票を正確に記入して、体の状態を医師に伝えてください。
特に心臓や肺に慢性の病気のある方は、医師に相談の上、体調の良い時に接種するようにしてください。

※ 以下に該当する方は予防接種を受けることができません。

- ① 発熱のある方（接種前に37.5度以上）
- ② 重篤な急性の病気にかかっている方
- ③ これまで、インフルエンザワクチン接種後2日以内に発熱のみられた方
- ④ 全身性発疹等のアレルギーを疑う症状が出たことのある方
- ⑤ これまで、インフルエンザ予防接種液の成分によってアナフィラキシーショックを起こしたことがある方

アナフィラキシーとは、通常接種後30分以内に起こる強いアレルギー反応のこと
で、発熱・じんましん・吐き気・血圧低下など激しい全身症状があります。

- ⑥ そのほか、医師が不適当と判断したとき

《副反応》

接種直後、数日中に副反応（発赤、腫脹、かゆみ、患部の痛み、発熱、頭痛、倦怠感など）が起きることがあります。通常2～3日で治りますので、経過をみていただくようお願いいたします。

《健康被害救済制度》

予防接種は感染症を予防するために重要なものですが、極まれに健康被害（病気になったり障害が残ること）が起こる場合があります。予防接種を受けたことで健康被害が生じた際は予防接種法に基づく救済【予防接種救済制度】を受けることができます。給付申請の必要が生じた場合には健康推進課（33-9600）へご相談ください。

《接種後の注意》

- ・接種後24時間は副反応に注意し、特に接種後30分までは医療機関で様子を見るようにしてください。
- ・入浴は、接種後1時間を過ぎれば差し支えありません。
- ・接種後24時間は、過激な運動や過度の飲酒はつづきまじょう。